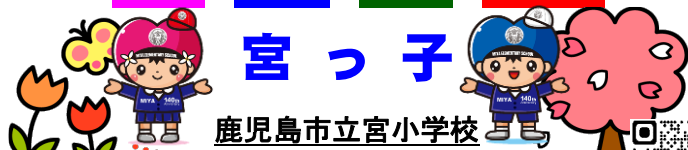


令和7年度宮小学校だより第7号(10月号)

令和7年10月28日

校訓 **考える** **強い** **明るい** **思いやり** の



宮っ子
鹿児島市立宮小学校

※ ホームページにも掲載しています。右の二次元コードより

読書の秋を楽しみましょう

校長 山里 浩美

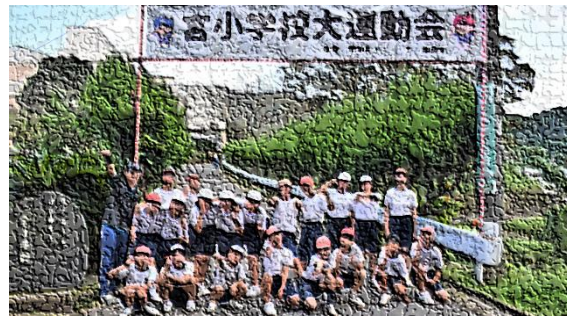
10月5日(日)は、天候にも恵まれ、スローガン「最後までやりとげる 笑顔かがやく宮校区」のもと、宮小学校・宮校区合同運動会を盛大に開催することができました。保護者・地域の皆様にも競技の御参加と子供たちへの温かい応援をいただき感謝申し上げます。また、今年も吉水棒踊りを勇壮に踊ることもできました。保存会の皆様の御協力ありがとうございました。

さて、秋本番です。「スポーツの秋」、「食欲の秋」、「芸術の秋」そして、「読書の秋」です。本校では10月7日(火)から10月31日(金)までを読書月間として図書委員会の子供たちを中心にたくさんの取組を実施しています。子供たちは読書を通じて、読解力や想像力、思考力などを養います。また、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることができるようになります。さらに、自然科学や社会科学関係の本、図鑑などを読み深めることで、「本当にそうなの?」「もっと知りたい!」という気持ちが湧いてきます。自ら学ぶ楽しさや新しいことを知る喜びを味わうことができるでしょう。秋の夜長、ときにはテレビやスマートフォンなどから離れて、家族全員で読書をしてみてはいかがでしょうか。それぞれ好みの本を読んだり、家族で一冊の本を交互に読み聞かせをしたり、本の感想を話し合ったりと楽しめます。お忙しい時には、「どんな本を読んでいるの?」とか「好きな場面を教えて?」などと話題にさせていただくと子供たちの意識が向上すると思います。よろしくお願いたします。

全国秋の読書週間は10月27日(月)から11月9日(日)までです。今年の標語は「こころとあたまの、深呼吸。」です。この標語の作者は「めまぐるしい日常に息が詰まるとき、私は本を開きます。ハッと気がつき、息をのむ。ひと息ついて、まためくる。そうしてこころとあたまに酸素が満ちたら、どこまでも遠くへ泳いで行ける気がします。」と説明していました。この期間にも、子供たちが素敵な本に出会って、心豊かな時間を過ごせることを願っています。



今月の1枚「成し遂げた充実感」



子供が主語の運動会を成し遂げた6年生。どの顔も充実感に満ちています。

11月 行事予定

- 4日(火) 宮校区「みんな笑顔であいさつ運動」かごしまの教育県民週間IN宮小(~11日)、給食週間(~7日)、給食試食会(栄養教諭講話)、授業自由参観(午前)、醤油博士の出前授業③(3年)
- 5日(水) 授業自由参観(午前)、地域の方とのふれあい活動②③、市SC来校(11:30~14:30)
- 6日(木) 授業自由参観(午前)、移動図書
- 7日(金) 授業自由参観(午前)、薬物乱用防止教室⑤(6年)
- 8日(土) 土曜授業、授業自由参観(午前)
- 10日(月) 特別校時(4時間授業)、地震避難訓練③、第2回小中連携研修会(牟礼岡小)
- 11日(火) 芸術鑑賞会③④(参観可)
- 14日(金) チャレンジウィーク(~20日)
- 15日(土) 子ども食堂「宮っ子」
- 19日(水) 特別校時、校内持久走大会試走③、クラブ活動⑥
- 20日(木) 移動図書
- 26日(水) 第3回学校運営協議会(13:45~) 児童代表委員会・児童保健委員会⑥
- 27日(木) 特別校時(~28日)

12月 行事予定

- 1日(月) 宮校区「みんな笑顔であいさつ運動」明るく楽しい学校づくり週間(~5日)
- 2日(火) 市小学校音楽祭(3、4年:午前の部)
- 3日(水) 特別校時、校内持久走大会②、学級PTA
- 4日(木) 移動図書、食育学級活動⑤⑥(2、3年)
- 6日(土) 校区ごみ拾いまち歩き(9:00 校庭集合) PTA忘年会(19:00~ 宮西公民館)
- 9日(火) 特別校時(~12日)、清掃強調週間(~12日)
- 13日(土) 土曜授業、収穫祭①~③
- 16日(火) 特別校時
- 17日(水) 特別校時、市SC来校、代表委員会⑥
- 18日(木) 特別校時、移動図書
- 19日(金) 特別校時
- 20日(土) 子ども食堂「宮っ子」餅つき大会
- 21日(日) 校区鬼火焚き準備、学校後援会理事会
- 22日(月) 門松づくり(9:00~)
- 23日(火) 特別校時
- 24日(水) 特別校時(全学年3校時:給食なし) 終業式、大掃除



立派な紅白門と設営に子供の士気が高まりました

10月3日(金)の午前中、校区コミュニティ協議会とPTAのみなさまが紅白門を建て、「宮小学校大運動会」の横断幕を掲げてくださいました。約2時間の作業で、県道前と裏門前に立派な門が設置されました。また、午後からは、運動会準備としてテント借用と設営への御協力をいただきました。御多用の中に御協力くださったみなさまには、感謝しかありません。立派な門と会場で子供たちの士気を高め、運動会に華を添えてくださりありがとうございました。



【紅白門づくりの様子】



子供が主語の、笑顔かがやく合同運動会でした

10月5日(日)、薄曇りの絶好のコンディションのもと、第79回宮小学校・宮校区合同運動会を開催しました。今年度の運動会のテーマは「子供が主語の運動会」。どんな運動会にしたいかを話し合いながら実行委員を中心に計画・準備しました。例えば、スローガンは「6年ぶりの校区との合同運動会をみんなで楽しみたい」という思いを、「最後までやりとげる 笑顔かがやく宮校区」に反映させました。また、開・閉会式の在り方を見直し、進行も開会宣言や閉会宣言も自分たちに行うことはすべて自分たちで行いました。競技でも練習の成果を会場のみなさまに見てもらおうと、協力しながら楽しそうに頑張っていました。そして、高学年を中心につくり上げてきた児童会種目や応援合戦を披露する姿、地域や保護者のみなさまへの感謝のメッセージを伝える姿に「子供が主語の運動会」の実現を実感し、頼もしさを感じることでした。宮っ子一人一人が輝いた秋の一日。最高の運動会となりました。

最後になりますが、地域のみなさまと、PTA保健体育部やおやじの会をはじめとする保護者のみなさまには、駐車場整理や片付けなどにも多大な御協力をいただきました。本当にありがとうございました。



【子供が主語の開会式】



【校区種目「玉入れ」】



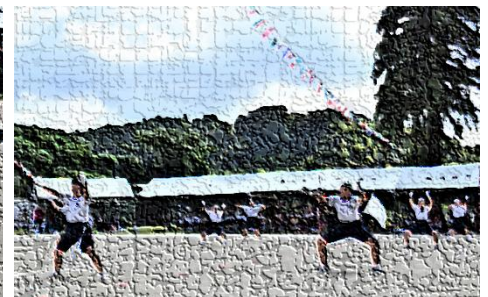
【「棒踊り」の披露】



【保護者とも対決「綱引き」】



【児童会種目「戦国ゲーム」】



【工夫を凝らした応援合戦】



実りの秋体験①～いもほり～

10月10日(金)に、1年生から4年生がいもほりを行いました。基ぐされ病対策として、予定を早めたため、収穫量が少ないのではないかと心配しました。しかし、掘ってみると、うねの中に大きないもがたくさん入っていました。丸々と太ったいもや規格外の長さのいもを収穫するたびに「見て見て。」という子供たちの歓声が響きました。12月13日(土)の収穫祭では、収穫したいもを使って、焼きいもやいもきんちゃくを作ります。大切に保管し、収穫の喜びを子供たちと分かち合いたいと思います。

なお、収穫を迎えるまで、畑の管理に尽力くださった〇〇さんや、立派ないもの苗を提供してくださった〇〇さんに厚くお礼を申し上げます。



【いもを収穫する2年生】



実りの秋体験②～6年生が脱穀を行いました～

実りの秋を実感する体験活動として、10月17日(金)に6年生が脱穀を行いました。天日乾燥させた稲を機械で脱穀したり、束ねられたわらを運んだりする作業に取り組みました。ごはんを当たり前のように食している子供たちにとって、そのルーツを知る貴重な体験となりました。

私たちの「当たり前」は、知らないところで誰かが行ってくださっている数多くの作業に支えられています。その「知らないところ」を体験的に知る学びは大変貴重です。そして、そのような学びの場が、伝統的に受け継がれている宮小学校と宮っ子たちは、とても恵まれていると言えます。今年度も、4月から、子供たちの貴重な学びを支えてくださった校区コミュニティ協議会のみなさま、御協力と御支援をありがとうございました。

なお、本年度も、もち米とうるち米を栽培しました。うるち米は子ども食堂「宮っ子」に食材として提供します。もち米は12月13日(土)の収穫祭や12月20日(土)の子ども食堂「宮っ子」で、もちに姿を変えます。味覚の秋を満喫するイベントも楽しみです。ちなみに5年生のお米販売を本年度も実施します。現段階の計画は次のとおりです



【脱穀の様子(6年生)】

今のところ、12月3日(水)の学級PTA開始前に販売する予定です。販売価格は、5年生の子供たちがリサーチした情報を基に決めます。詳細が決まりましたら、一斉配信メール等でお知らせします。

望ましい付き合い方を学びました～スマホ・SNSとの付き合い方～

スマホやインターネット、SNSは、表面化しづらいネットいじめの深刻化や不適切投稿による加害・被害の増加などによって、何かと「悪者扱い」を受けていますが、今や日常生活に欠かせないツールとなっています。与えないことや使わせないことで身を守らせるのではなく、適切な使い方を身に付けさせることによって、自分で身を守る術を身に付けさせることが大切です。そこで、10月7日(火)に子どもネットリスク研究会の先生をお迎えし、5、6年生を対象とした、「スマホ・SNSとの付き合い方に関する授業」を実施しました。具体的なデータを動画やスライドで示しながら、長時間の使用が体に及ぼす影響や使用のルールを家族で話し合っていることの大切さを中心に分かりやすく伝えてくださいました。授業後の子供たちの感想には、「今スマホを使いすぎていたら、目に支障が出て、将来にも不安が出てくることを知ったので、そういうところに気をつけながら過ごしていきたい。」「スマホを使う時間などを決めようと思ったし、寝る前にはスマホを使わないようにしようと思った。」などが見られました。これからの生活に生かしてほしいものです。



【先生の授業の様子】



子供が主語の読書月間～自己選択・決定、当事者意識～

10月は校内読書月間でした。子供たちの読書意欲を高めるため、赤組、白組で読書冊数を競う読書運動会を実施したり、ポップ作りや読書感想画に取り組んでコンクールに応募したり、読書集会実施したりと、充実した取組が行われました。中でも、10月21日(火)に行われた読書集会では、図書委員会の子供たちがプログラムを一新し、自分たちの手で企画・実施した俳句コンテストの表彰式を行ったり、縦割り班に分かれて、お気に入りの本のブックトークを行ったりしました。楽しそうにプログラムに取り組む子供たちの姿にも、その姿を眺める図書委員会の子供たちの表情にも、ともに充実感が表れていました。

本校では、「自律・自走する子供の育成」を目指して、子供の主体的・自治的な活動を重視しています。主体的・自治的な活動は、自己選択・自己決定の繰り返しです。そして、選択・決定するたびに子供たちは「(自分は)どうしたいのか」、「なぜ、この方法がよいのか」など、自分や友達、課題に向き合い、当事者意識をもって深く考えます。道半ばではありますが、子供たちが自己選択・自己決定しようとする意欲や学校生活に対する当事者意識の高まりを感じる今日この頃です。



【俳句大会の表彰】



【縦割り班ブックトーク】



6年生が赤い羽根街頭募金活動に参加しました

10月25日(土)、本校総務委員会6年生の〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんが、輝楽里よしだ館で行われた赤い羽根街頭募金活動に参加しました。吉田地域社会福祉協議会の方々と吉田地域の小中学生が合同で行うこの取組は、毎年の恒例行事となっています。秋の収穫シーズンとあって、次々と来館する方々に、「赤い羽根募金活動を行っています。みなさまの御協力をよろしくお願いします。」と元気に呼び掛けました。また、「ありがとうございました。」と感謝を伝え、赤い羽根や風船を笑顔で手渡していました。



【赤い羽根街頭募金活動の様子】

1947年に始まった赤い羽根共同募金は、助け合いや支え合いという、日本人が大切にしてきた価値観を受け継いで、今日まで続いています。価値観が多様化しても、「命は大切」、「助け合いは大切」、「人とのつながりは大切」など、普遍的な価値は存在するものです。価値観の多様性と普遍的な価値の両方を大切にする宮っ子を育てるため、私たちも大人も、そうありがたいものですね。



今月の名文～県児童生徒作文審査会出品作品より～

今月号では、児童生徒作文審査会に出品した、3年生の〇〇〇〇さんの作品を紹介します(掲載スペースの関係上、原文では平仮名の部分を一部漢字に直して表記してあります)。

お世話頑張るぞ

宮小学校 三年 〇〇〇〇

今年、おばあちゃんからカブトムシのさなぎをもらいました。実は、二年生の夏休みにもクワガタをもらったのですが、元気がなくてすぐに死んでしまいました。あまり、お世話できずに、とても悲しかったことがあります。だから、今度こそは、お世話名人になれるように頑張ろうと思いました。

生まれてくるのが楽しみで、早速、カブトムシのお世話の仕方について調べたり、ケースや食べ物をすぐに買いに行ったりしました。

カブトムシのさなぎは、もらった時は土の中にかくれていたもので、どうなっているのかなと思って、割りばしで掘ってみました。すると、何匹かのさなぎを発見しました。大きさは五センチメートルぐらいで、もうカブトムシに近い形をしていました。びっくりしました。早く成虫になってほしかったので、玄関の階段下の少し暗いところを選んで、お世話することにしました。それから、いつも気になって、箱の中を見ましたが、成虫になっていませんでした。

ある日の夜、お父さんが、

「生まれているよ。」と教えてくれました。走ってカブトムシのところに行くと、ゴソゴソと三匹のカブトムシが歩いていました。嬉しくてそっと触ってみました。初めて触るカブトムシは、生まれたてで、体がまだちゃんとできていないので、ぷにゅぷにゅとした柔らかい感じでした。色はうすい茶色です。ときどきしていたので、手も震えてしまいました。

次の日、準備していたえさのゼリーをあげてみました。でも、カブトムシは、土の中から出てきません。毎日、えさ皿のゼリーをのぞいて見ても、まったく食べていません。ほくは、カブトムシが死んでしまわないか心配でした。土の中をそっと見ると、カブトムシがゆっくりと動いていたので、ほっとしました。カブトムシは触ると、ストレスがたまるかと本に書いてあったので、そっと見守ることにしました。

五日ぐらいたった夜に、カブトムシが土の上にガサガサと出てきました。元気に歩いたり、かごの中で羽を広げて、飛んだりしていました。ゼリーも少し減っていたので、食べてくれたんだなと安心しました。嬉しい気持ちと、元気づいて驚いた気持ちが混ざっていました。だから、もっと食べるようにゼリーを二個入れてみました。

次の朝、かごを見ると、えさのゼリーは空っぽになっていました。急に、すごい食欲だなと驚きました。それから、霧吹きで、水かけをしたらよいと本に書いてあったので、かけてみると、シャワーみたいになり水がかかり、気持ちよさそうにしています。

おばあちゃんからもらったカブトムシのさなぎは、今、七匹が成虫になっています。これからもきちんとお世話をし、長生きしてほしいと思います。お世話名人を目指して頑張ります。

